

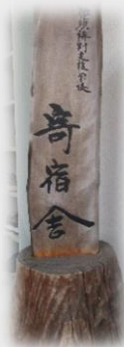
寄宿舍だより

栃木県立那須特別支援学校寄宿舍発刊

平成11年創刊 No.81号（最終号）

令和7年 2月 28日発行

那須特別支援学校 寄宿舍 46年の歴史に幕



本校は昭和53年に開校し、同年に設置された寄宿舍も今年度（令和6年度）で46年目を迎えました。毎年多くの入舎希望をいただき、46年の間に延べ1000人（推定）を超える寄宿舍生が社会に巣立っていきました。歴史ある寄宿舍ですが、建物の老朽化などを理由に令和7年3月をもちまして閉舎することとなりました。

これまで、多くの児童生徒、保護者等の皆様に支えられ、各行事や交流学习、生活自立学習などを実りある活動にすることができました。日々の生活指導においても、家庭・学校との連携が充実し、寄宿舍生の生活力向上につなげることができました。関係された皆様方に心より御礼申し上げます。

歴史ある寄宿舍がなくなってしまう寂しい思いもありますが、これまで築きあげてきた寄宿舍教育は少し違った形で今後も継承されていきます。児童生徒、保護者等の皆様が望む寄宿舍像に少しでも近づけるよう、工夫しながら取り組んでまいりますので、引き続き御協力いただけたら幸いです。

寄宿舍だよりは本号が最終号となります。今回は寄宿舍生に寄宿舍についてのアンケートをとり、まとめたものを掲載いたします。

舎生にアンケート！

寄宿舍での思い出は？



〈行事編〉

- ・ 歳末お楽しみ会の司会では不安はあったが、友達と協力して頑張れた
- ・ 外出学習が楽しかった 5票
- ・ 舎生クラブの流しそうめんが楽しかった
- ・ 映画会が楽しかった
- ・ 納涼祭の準備をみんなと頑張った
- ・ 夏季レクリエーションで浴衣を着たこと

〈生活編〉

- ・ みんなとお風呂に入ったこと
- ・ 生活自立学習の宿泊学習に参加したこと

〈舎室活動編〉

- ・ 誕生会でみんなとケーキを食べたこと
- ・ 誕生会でピザを作ったこと

〈余暇活動編〉

- ・ みんなと一緒にゲームをしたこと 6票
- ・ 体育館で遊んだこと 2票
- ・ 外で遊んだこと 2票
- ・ ペダルカーに乗ったこと
- ・ みんなで歌ったこと
- ・ 学習室にある大きなバランスボールで遊んだこと
- ・ お兄さん、お姉さんといっぱい遊んだこと

好きな行事は？

第1位	歳末お楽しみ会	13票
第2位	舎生クラブ	6票
第3位	外出学習	4票
第4位	納涼祭	3票
第5位	誕生会	2票



好きな舎食は？

第1位	ラーメン	6票
第2位	ハンバーグ	5票
	からあげ	5票
第3位	スパゲティ	3票
第4位	焼き魚、納豆、信田煮、野菜炒め、 カレーライス、雑穀米、うどん、 ポイルウインナー、カップエッグ、 ポークソテー、なめ茸ご飯、 チリコンカンライス etc	1票

舎生にアンケート！



納涼祭や歳末お楽しみ会の前日には、お楽しみメニューが！内容は当日のお楽しみ♪

寄宿舍生活を経て成長したことは？

- ・朝、ご飯を食べられるようになった
- ・人前で堂々と話せるようになった
- ・洗濯や掃除を学ぶことができた 3票
- ・朝、自分で起きることができた 2票
- ・自分で調理することができた
- ・着替えが1人でできた
- ・友達と一緒にならどこでも寝られるようになった
- ・誰とでも仲良くなれるようになった 2票
- ・生活のリズムが整った
- ・右手が使えるようになった

- ・気持ちを安定させることができた 2票
- ・日課をスムーズにすごせるようになった
- ・気持ちの切り替えが早くなった
- ・登校準備にかかる時間が早くなった 2票
- ・洗濯当番で衣類がたくさん入った重いかごを1人で運ぶことができた
- ・自信がついた
- ・いろいろな順番を覚えることができた
- ・布団にシーツを自分でつけて敷けるようになった 2票
- ・自分で髪や体を洗えるようになった

いっぱいがんばったね🍀

一年間たくさんのことを経験し、毎日繰り返す行うことでこんなにできることが増えました！

寄宿舍寮務主任より

日頃より寄宿舍教育への御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年度は中学部生8名、高等部生18名の計26名（男子18名、女子8名）での集団生活が始まりました。6部屋あり、一部屋4～5名で就寝しています。個性豊かな26名での集団生活は、とてもにぎやがで活気にあふれています。

寄宿舍生活では大きく分けて、二つの約束事があります。まず、「自分の事は自分ですること」です。今まで、家庭に帰ればやってもらえたことも自分でやらなければなりません。それぞれが課題に向き合い、自分のできることを着々と増やしてきました。

もう一つは、「皆と仲良く生活すること」です。はじめて集団生活を経験する舎生は、当初、緊張や戸惑いも見られますが、自分なりの方法で徐々に異年齢の他舎生との距離を縮めていき、関係を深めていきます。決して簡単なことではありませんが、今ではすっかり26名の兄弟姉妹です。そこに寄宿舍指導員や舎監が加わり、まさに大家族です。大人数の集団生活ですから、些細なトラブルや問題はたくさん出てきます。慣れてくると自分を出し過ぎてぶつかり合い、けんかになることもあります。職員のサポートにより、一つ一つの問題を解決し、着実に成長してきました。生活の様子を、本校HPで御覧いただければ幸いです。

寄宿舍も今年度で幕を下ろします。私個人としては23年前から関わり、寮務主任を11年間、務めさせていただいたことは、とても名誉なことです。数々の喜びがあり、ハプニングあり、舎生たちと寝泊まりした日々は、かけがえのない思い出です。親から離れて生活し、たくましくなった舎生たちが、那特寄宿舍で学んだことを卒業後の社会の中で、少しでも生かしてくれればと願っています。

今まで寄宿舍を支え、協力くださいました方々、本当にありがとうございました。寄宿舍関係職員一同、心より感謝申し上げます。

寮務主任 橋本 剛

※来年度は、寄宿舍指導の知見を生かすための検証事業として、生活訓練棟を活用した宿泊体験が実施されます。